

川へ行こう！ 川を楽しもう！



かわたび  
ほっかいどう

Tokoro River

# かわたび北海道 (常呂川の150年のふりかえり)



2018年は北海道150年  
Hokkaido's 150th Anniversary



# かわたび北海道の取り組み

四季折々の川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等の川に関する情報を効果的に発信するなどし、地域住民や観光客の水辺利用や周遊等をサポートするとともに、地域の取り組みのネットワーク化を図り、地域の賑わいづくり・観光振興に貢献する「かわたび北海道」プロジェクトを推進します。

## 常呂川の歴史を振り返り、見所を紹介します。



桜づつみ



北見ハーフマラソン



常呂川花火大会

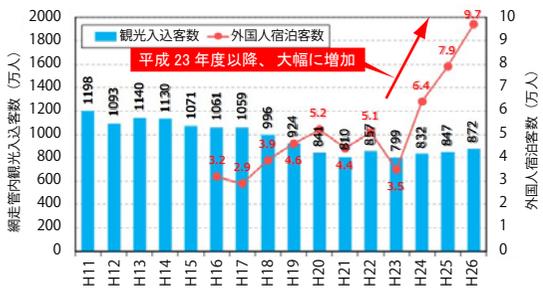


ファットバイクレース



北見ツデーマーチ

網走管内の観光入込客数は近年回復傾向で、外国人宿泊客数は大幅に増加しています。



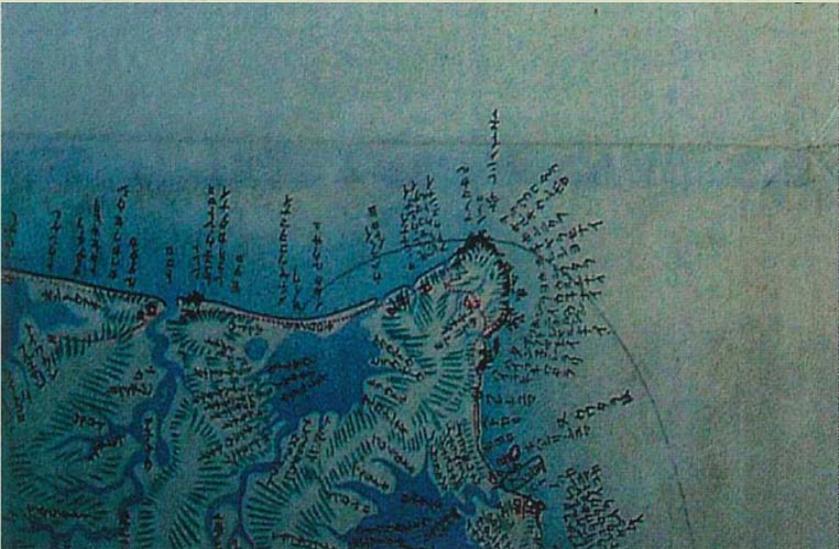
出典：「オホーツク管内観光入込客数及び外国人宿泊客数について」(北海道オホーツク総合振興局観光室)

### 開拓の初期【江戸時代】

- 幕末の探検家である松浦武四郎は、弘化 2（1845）年より安政 5（1858）年にかけて箱館奉行所（江戸幕府）から蝦夷山川地理取調を命じられ、6 度に渡って蝦夷地内陸探検に訪れました。
- 明治 2（1869）年には、本道はかつて「蝦夷地」と呼ばれていましたが、武四郎の提案もあり太政官布告によって「北海道」と命名されました。
- この年に北見国が誕生したのですが、北見国の区域は、かつての宗谷・斜里場所の範囲で、晴天の日には樺太が見えることから、松浦武四郎が命名したものでした。
- 平成 30 年（2018 年）は「北海道」と命名されて 150 年になります。



幕末の探検家  
松浦 武四郎



松浦武四郎が作成したトコロ・アバシリ地方の地図  
（北海道立文書館蔵）

# 常呂川流域への入植【明治初期～明治後期】

- 明治 5 年に網走郡出張開拓使（後の網走支庁）が設けられ、近代化の第一歩を踏み出しました。
- 明治 5 年 3 月に常呂群 7 カ所の村名が決定しました。当時村名は、アイヌの呼び名を片仮名で表していましたが、明治 8 年 5 月から漢字に改められました。
- 明治 16 年 4 月には、常呂村に常呂郡を一円とする常呂村外 6 カ所戸長役場が置かれ、戸長に鹿児島県人の杉田三次郎が任命されて、行政組織が始まりました。



## 農業移民のはじまり

明治 19 年に、北海道庁は入植事業を円滑に進めるために、新たに「北海道土地払下規則」を制定し、それと併行して道内植民地の整理調査に乗り出しました。

明治 20 年石狩地方から調査を開始し、明治 22 年には道内主要原野の調査を終えました。そして、明治 24 年にこの調査の報告書が「北海道植民地選定報告文」としてまとめられ、入植移民業務が全道的に進められました。

常呂郡内では下常呂・野付牛・武華・訓子府の各原野が区画測定されたのにもない、明治 28 年より本格的に移住入植がはじまりました。



植民地区画図（明治 22 年測量）



原生林を測量する様子



## 主な洪水と治水計画

### 大正 10 年 北海道第 1 期拓殖計画の一環として治水工事着手

- ・計画高水流量  
(河口) : 5 万立方尺 (約 1,400m<sup>3</sup>/s)
- ・築堤工事

### 大正 11 年 8 月洪水 (台風)

- ・流量 : 推定 1,610m<sup>3</sup>/s
- ・流域平均雨量 182mm/48h
- ・死者 117 名 (全道)
- 被害家屋 1,093 戸
- 田、畑浸水 2,160ha

### 昭和 2 年 北海道第 2 期拓殖計画 (計画の見直し)

- ・計画高水流量 :  
(河口) 7 万 5 千立方尺 (約 2,100m<sup>3</sup>/s)  
(北見) 4 万立方尺 (約 1,100m<sup>3</sup>/s)
- ・置戸境野から河口までの築堤・掘削

### 昭和 32 年 計画流量の見直し

- ・計画高水流量 : 1,500m<sup>3</sup>/s

### 昭和 42 年 一級河川に指定

### 昭和 43 年 工事実施基本計画策定

- ・基本高水流量 : 1,900m<sup>3</sup>/s
- ・計画高水流量 : 1,600m<sup>3</sup>/s

### 昭和 50 年 9 月洪水 (低気圧・前線)

- ・北見地点流量 : 508m<sup>3</sup>/s
- ・流域平均雨量 : 77mm
- ・被害家屋 1,060 戸、氾濫面積 1,111ha

### 昭和 50 年 鹿ノ子ダム建設着手

### 昭和 58 年 鹿ノ子ダム完成

### 平成 4 年 8 月洪水 (台風)

- ・北見地点流量 : 671m<sup>3</sup>/s
- ・流域平均雨量 : 78mm
- ・被害家屋 26 戸、氾濫面積 690ha

### 平成 10 年 9 月洪水 (台風)

- ・北見地点流量 : 898m<sup>3</sup>/s
- ・流域平均雨量 : 101mm
- ・被害家屋 8 戸

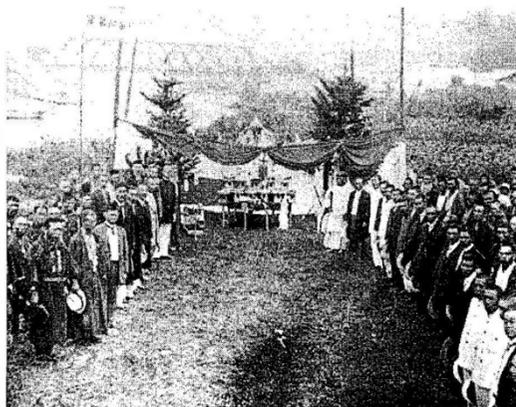
### 平成 13 年 9 月洪水 (台風)

- ・北見地点流量 : 932m<sup>3</sup>/s
- ・流域平均雨量 : 175mm
- ・被害家屋 2 戸、氾濫面積 993ha

※流量、流域平均雨量は北見地点  
※北見市の氾濫面積、被害家屋は北見市全域を  
含んだ値であり、一部流域外も含む



大正 8 年 常呂川氾濫状況 (常呂村)



常呂川治水工事起工式 (大正 10 年 8 月 1 日) 常呂町史より



昭和初期の治水工事

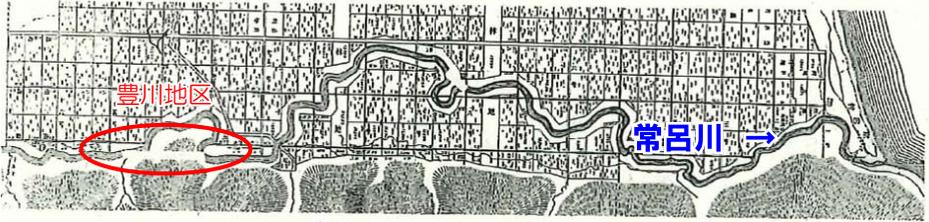


# 常呂川の変遷とまちの発展

## 常呂川下流部の治水対策

【豊川新水路掘削工事】

- 明治 42 年洪水、大正 8 年、9 年と続く大洪水を契機に、大正 10 年 8 月ようやく、待望の治水工事が着工されました。
- 下常呂平野 3,400h a に及び広大な地域のはん濫防止を目的に、未墾地の開発を促進するために、蛇行の激しい豊川地区の捷水路工事が、大正 11 年 1 月に着手されました。
- 旧河道延長 5,500m を新河道延長 3,900m に切り替え、洪水の疎通を図るとともに、掘削土量は築堤造成に利用され大正 13 年 3 月に通水されました。



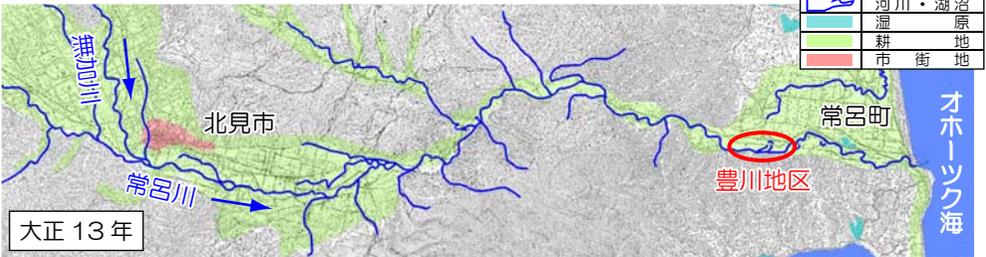
明治 30 (1897) 年ころの開拓創成期の河道



平成期の河道

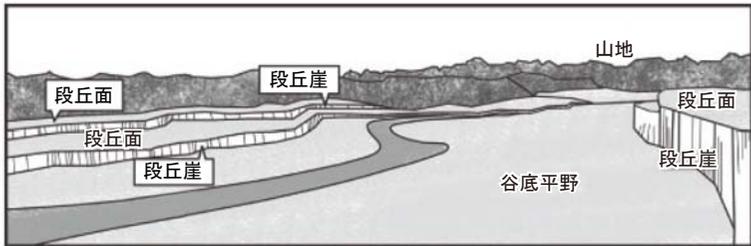
- 常呂川流域の低平地では、度重なる洪水や氾濫を契機に、大正 10 年以降さまざまな治水対策が施され、土地利用は耕地や市街地が拡大しました。

凡例	
	河川・湖沼
	渚
	原
	耕地
	市街地



# 常呂川の河岸段丘

- 川は土地の隆起で流れる場所が高くなったり、気候の変動で海面が低下したり降水量が大きくなったすると、侵食力が増して谷底平野を削り、より下流に土砂を運んでいきます。そして、川より高く平らな形で残った平坦面（段丘面）と削られてできた崖（段丘崖）からなる土地ができあがり、これを河岸段丘といいます。
- 北見市を中心とする北見盆地が代表的なもので、常呂川本川や支川の無加川、訓子府川などにおいて、数段の河岸（かかん）段丘（だんきゅう）群を形成しており、網走地方における最大の内陸凹地となっています。



出典：国土地理院

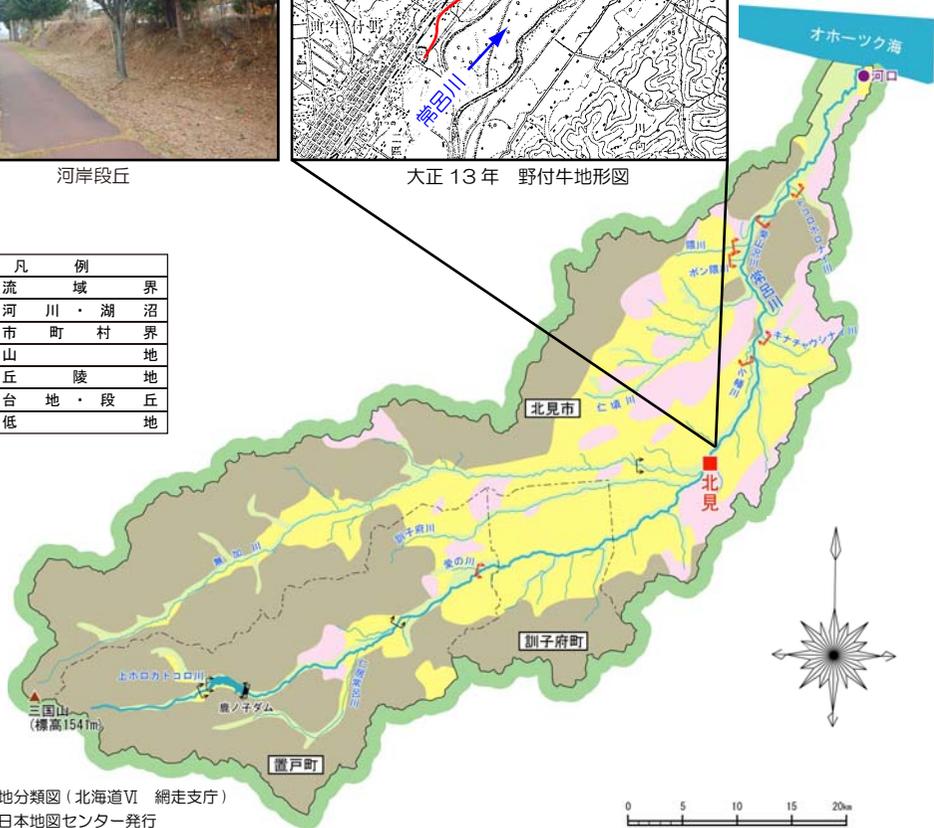


河岸段丘



大正 13 年 野付牛地形図

凡 例	
	流域界
	河川・湖沼
	市町村界
	山地
	丘陵地
	台地・段丘
	低地



出典：土地分類図（北海道VI 網走支庁）  
財団法人日本地図センター発行

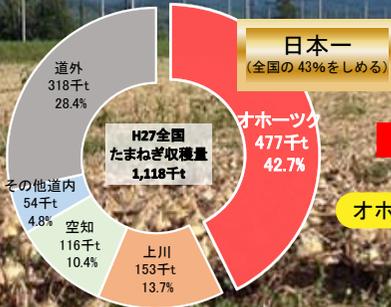


# 常呂川治水対策によるストック効果

- 流域は農業、水産業が盛んで、中下流部は農地として明治初期からひらけ、河口沿岸ではホタテの養殖などの漁業が行われており、タマネギや甜菜（てんさい）、ホタテの全国有数の産地となっています。
- オホーツク管内のタマネギの収穫量は、全国一位となっています。

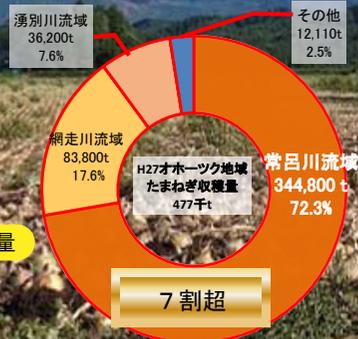
## たまねぎ収穫量

< 全国 >



## 常呂川流域は全体の7割超

< 流域別 >



オホーツク収穫量

7割超

資料：H27作物統計

### オホーツク流域

- 中小洪水で被害が大幅に軽減
- ただしH13年規模の洪水では、さらなる整備が必要

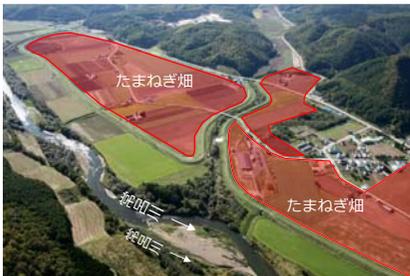
- 【H10 洪水】→ 100mm 規模で被害が減少
- 【H13 洪水】→ 170mm 規模で大被害が発生
- 【H28 洪水】→ 300mm 規模で堤防決壊及び大被害が発生



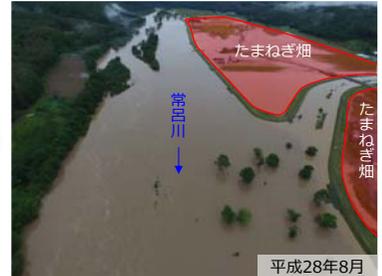
→ 治水事業の推進が必要

### 常呂川流域のたまねぎ畑浸水被害状況

たまねぎ畑範囲



たまねぎ畑浸水状況



# 川 常呂川の流域概要

流域面積	: 1,930km <sup>2</sup>
幹川流路延長	: 120km
流域内人口	: 約 14 万人
関係市町村	: 北見市、訓子府町、置戸町

「北海道の地名」によれば常呂(ところ)川という名は、アイヌ語の「ト・コロ・ペツ」(沼・を持つ・川)に由来しています。

## 交通アクセス

### 空港連絡バス

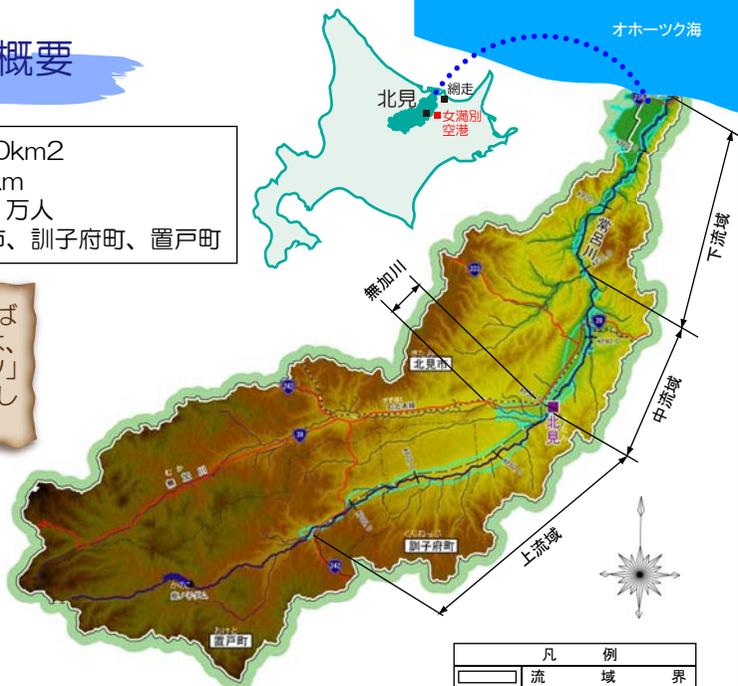
《女満別空港 ⇄ 北見》

所要時間・・・約 42 分  
距離・・・・・・約 32km

《女満別空港 ⇄ 網走》

所要時間・・・約 35 分  
距離・・・・・・約 22km

※到着場所はバスターミナル



凡 例	
	流 域 界
	基 準 地 点
	鉄 道 (JR 線)
	国 道

## Welcome to Okhotsk World



オホーツクエリアの形と Okhotsk の頭文字「OK」から「オホーツクは OK!!」「オホーツクで OK!!」を合言葉に、この地域の様々な魅力の情報発信のサポートになるよう怪獣キャラクターが誕生しました。

オホーツク快住(かいじゅう)は造語で『オホーツクには快さが住む』の意味をこめています。



企画・製作：オホーツク観光連盟



